

第五十二回

熊本城（熊本県熊本市）

「愛媛若葉」主宰 高岡 周子 選

熊本市賞

虫干や近衛騎兵の服赤く

福岡県大牟田市 前原 八寿之

特選三句

雲水の網代笠より汗の顎

福岡県大牟田市 本田 守親

水飛沫舟水揺るる蓮の花

熊本県熊本市 富士本 恵理

落ちぬ城見上げ額をつたふ汗

千葉県柏市 小野 一美

投句総数 二十一句

開函日 令和五年十月三十一日

第五十二回

法隆寺周辺（奈良県斑鳩町）

「愛媛若葉」主宰 高岡 周子 選

奈良・斑鳩町賞

梅雨晴間仰け反つて吹くサキソフォン

兵庫県神戸市 塩見 恵介

特選三句

カンナの緋一途てふ事知りし頃

奈良県生駒郡斑鳩町 内田 良平

逃水を追いかけてゆく子規の道

大阪府和泉市 中塚 正一郎

塔めぐり釣瓶落しの里を行く

奈良県大和郡山市 菊本 章生

投句総数 五十四句

開函日 令和五年十月三十一日

第五十二回

博物館明治村（愛知県犬山市）

「愛媛若葉」主宰 高岡 周子 選

子規はいく賞三句

呉服座の回り舞台に秋惜む

兵庫県芦屋市 山村 千恵子

重陽の明治の木肌しつとりと

愛知県刈谷市 松井 明美

青空にすすけし煉瓦小鳥来る

愛知県豊田市 鈴木 雅弘

特選三句

秋高し明治の気概満つる村

大阪府泉大津市 山田 佳音

小春日の明治村より出す葉書

大阪府泉大津市 多田羅 紀子

影伸びて蜻蛉集まる煉瓦道

愛知県稲沢市 小崎 忍

投句総数 七十二句

開函日 令和五年十月三十一日

第五十二回

子規庵（東京都台東区）

「愛媛若葉」主宰

高岡

周子

選

特選三句

秋暑し芳名禄に文字太く

広島県東広島市

宮谷

元子

子規庵の低き鴨居や蚊遣香

埼玉県春日部市

齊藤

利彦

一刷毛の雲鷄頭の赤深く

東京都世田谷区

稲田

恵理子

投句総数

三十九句

開函日

令和五年十月三十一日

第五十二回

記念艦 「三笠」 (神奈川県横須賀市)

「愛媛若葉」 主宰 高岡 周子 選

特選三句

甲板の海風感ず残暑かな

東京都杉並区 関口 瑛貴

海蒼し大空青し終戦日

神奈川県横須賀市 齋藤 秀一

百年の木枯に耐ふ記念艦

埼玉県さいたま市 大澤 俊介

投句総数 六十九句

開函日 令和五年十月三十一日

第五十二回

大和ミュージアム（広島県呉市）

「愛媛若葉」主宰 高岡 周子 選

特選三句

五十六の七言絶句今日の月

佐賀県唐津市 山口 二三子

風死すや航空母艦の優しき名

島根県出雲市 上川 紗央里

大和見て震へる心冬近し

滋賀県彦根市 片山 真喜代

投句総数 七十一句

開函日 令和五年十月三十一日

第五十二回

歴史博物館・漱石公園（東京都新宿区）

「愛媛若葉」主宰 高岡 周子 選

特選三句

青芭蕉だらだら坂といふ坂に

千葉県松戸市 祐 森司

焦点を合はせる刹那の石榴かな

神奈川県川崎市 林 美希

漱石に夢中となりし夜半の秋

東京都武蔵野市 豊治 さくら

投句総数 四十四句

開函日 令和五年十月三十一日



第五十二回

鶴ヶ城（福島県会津若松市）

「愛媛若葉」主宰 高岡 周子 選

特選三句

生き様を城に映せる会津人

岐阜県高山市 矢嶋 真以

雨上がり会津の城に虹かかる

東京都町田市 西山 晶子

秋晴の天守にゆれる人いきれ

福島県会津若松市 多田 敬一

投句総数 十六句

開函日 令和五年十月三十一日

第五十二回

東松山市（埼玉県東松山市）

「愛媛若葉」主宰 高岡 周子 選

特選三句

往く道の悲喜交々や秋昏るる

埼玉県川越市 渡邊 美智子

一樹づつ名札の古ぶ木下闇

埼玉県川越市 吉野 敬子

句会果て酷評を慰す星月夜

埼玉県東松山市 大井 正行

投句総数 五十句

開函日 令和五年十月三十一日

第五十二回

羽二重団子本店（東京都荒川区）

「愛媛若葉」主宰 高岡 周子 選

俳句のまちあらかわ賞

瀬祭忌羽二重団子にありつきぬ

千葉県市原市 小原 千秋

特選三句

絵筆持つ不折の像に草の花

神奈川県茅ヶ崎市 宮澤 進

朝焼に響く足音勝負の日

東京都荒川区 町田 美幸

スクラムは五角の惜敗月見酒

埼玉県春日部市 池田 洋子

投句総数 五十八句

開函日 令和五年十月三十一日